

## 防衛装備・技術政策の方向性に係る講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会は、(一社)日本防衛装備工業会及び(一社)日本造船工業会との共催により、6月15日(水)、自民党国防部会から大塚部会長、防衛装備庁から渡辺長官、政策研究大学院大学から角南副学長、並びに未来工学研究所から西山研究参与を講師にお招きし、防衛装備・技術政策の方向性に係る講演会をグランドヒル市ヶ谷にて開催した。

一昨年4月に武器輸出三原則に代わる「防衛装備移転三原則」が公表されて以降、経済産業省・防衛省をはじめとした政府機関及び防衛関連企業が防衛装備品の海外移転に取り組む状況の中で、6月2日に自民党国防部会長から首相官邸に「防衛装備・技術政策に関する提言」が提出された。かかる状況を受け、会員企業の皆様に、自民党国防部会長から本提言の背景・内容等をご説明

頂くとともに、防衛装備庁長官及び防衛装備・技術に関する有識者から、世界の防衛装備・技術政策の最近の動向、今後の防衛装備・技術政策の課題や方向性等について、講演して頂いた。

当日は、(一社)日本防衛装備工業会、(一社)日本造船工業会及び当会会員企業から計約160名が出席し、防衛装備・技術政策に対する会員企業の皆様の関心の高さが窺えた。講演会当日の演題及び講演者は次ページのとおりである。

なお、本講演会の終了後、防衛装備庁池松国際装備課長より、6月4日に日米防衛相会談で署名された「日米の相互の防衛調達に係る覚書(RDP MOU)(注)」について、説明が行われた。

(注) Reciprocal Defense Procurement Memorandum of Understanding



会場の状況

「防衛装備・技術政策に関する提言～「技術的優越」なくして国民の安全なし～」



自民党防衛部会長 衆議院議員 大塚 拓 氏

「防衛技術のイノベーションについて」



防衛装備庁長官 渡辺 秀明 氏

「技術報国 国家科学技術政策論:「技術的優越」を目指して」



政策研究大学院大学副学長 角南 篤 氏

「防衛技術とイノベーション」



未来工学研究所研究参与 西山 淳一 氏



防衛装備庁国際装備課長 池松 英浩 氏

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕